

オメガ・ドーム (1996)

OMEGA DOOM

メディア TVM
ジャンル S F
製作国 アメリカ
時間 83分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】
アンドロイド兵器による世界大戦後の荒廃した世界を舞台に、対立状態にあったアンドロイド・グループと、1体の謎のアンドロイドとの間に起こる争いを描いたS Fアクション。廃虚と化した都市の片隅でロムとドロイドという型の違う二つのアンドロイド・グループが対立していた。彼らは共に生き残った人間たちが自分たちを殺しに来ると言う噂を恐れ、それに対抗するため、失われた拳銃を独占すべく争い、今は冷戦状態に陥っていた。しかし、彼らの前に一体のアンドロイド＜オメガ・ドーム＞が現れ事態は一転する……。

アンドロイド＝ハウアーと、この設定だけでS Fファンとしてはときめいてしまうが、そこはアルバート・ピュン。彼にそんな期待に答えるほどの器量などある訳がなく、結果、何がなんだかさっぱり判らんような物に仕上がってしまった。人間たちに対抗するためアンドロイドが拳銃を手に入れようとする話なのだが、奴等、素手で100人くらいカルく殺れそうな位の高性能（なんせ兵器なんだから）。しかも、みんな銃なんかより100倍強力なレーザーガンを持ってて“何故に拳銃？”と思ってしまう。張られた伏線も理解不能。期待のハウアーに至っても近年の他の作品同様“老いたな”と言う感じで以前の凄みは失せている。レプリカントも年には勝てなかったようだ。

【クレジット】		
監督	アルバート・ピュン	Albert Pyun
製作	ゲイリー・シュモラー	Gary Schmoeller
	トム・カーノウスキー	Tom Karnowski
製作総指揮	ポール・ローゼンブラム	Paul Rosenblum
	バー・B・ポッター	Barr B. Potter
原案	アルバート・ピュン	Albert Pyun
脚本	エド・ナーハ	Ed Naha
	アルバート・ピュン	Albert Pyun
撮影	ジョージ・ムーラディアン	George Mooradian
音楽	アンソニー・リパレッティ	Anthony Riparetti
出演	ルトガー・ハウアー	Rutger Hauer
	シャノン・ウィリー	Shannon Whirry